

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	チャイルドウィッシュたかばた					公表日	2026年 1月28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		5	利用定員いっぱいになると個々のスペースが狭くなる為、身体を動かせる様公園へ行く等する。大人数だと接触等があるので目を配り怪我に気を付ける。	・個別対応等の落ち着ける空間が必要。 ・運動遊び、体操の際定員数になるとスペースが狭いので出来る運動を考える。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	日々子供たちに合わせ改善している。	トイレが大人用しかなく、難しい子には付き添いが必要。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・定員数利用があると狭いので、公園へ行く。 ・掃除や安全確認を常に心掛けている。 ・マットを敷き、衝撃を吸収できる様になっている。			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	4		・個室の様な、勉強をしたり子どもが落ち着ける空間がない。 ・パーテーションを活用し、部屋をわかる事はできるが狭い。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	4				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	半年に一度モニタリングを行い、職員間でも会議を開いた。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		振り返りの話し合いが出来ている。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		未定		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		研修に積極的に参加し、研修報告書を書いている。			
適切	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5					
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5					
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		モニタリングをする前、職員間で会議を開いている。			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		定期的に担当者会議等を実施し、職員間で共有している。			
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		日々の活動の記録を残し、書面でも職員共有している。			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5					

な 支 援 の 提 供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		子どものやりたい事好きな事を優先し、場面に合わせて行っている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		会議という場を設けなくても会話の中で話し合えている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		振り返る会話をする事が出来ている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		特に目立った問題があれば赤ペンで書くなど工夫している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	2	3		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		表情が曇っている子がいたら、子どもが心情を話しやすいよう選択肢を与えるなど工夫して対応している。	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		送迎時学校側と気になる点を共有するなどしている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1		
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		近所の公園にでかけ、地域の子どもたちと遊び交流する事がある。休日には児童館や図書館も利用している。	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時に保護者と子どもの状況を共有し、職員間で話し合っている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			

保護者への説明等	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・連絡ノートを通じて子供の状況を共有している。送迎時にも情報共有を心掛けている。モニタリングの実施。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	5		
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情が出る前に、何か起きた場合は事前に報告し、謝罪している。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		HUG やInstagram等SNSをまめに更新し活用している。事業所内にも行事予定表や活動写真等を掲示している。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		月に1回、災害に応じた避難対応ができる様、子ども大人ともに学んでいる。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			個別ファイルで子どものアレルギーや持病を確認できるが、それを職員が把握しやすくはなっていない。
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1		ヒヤリハットを書くことを怠ったので書くようにする。(支援記録には記入済)
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		事前に保護者に身体拘束等についてわかりやすく説明し、同意書をいただいている。	

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名	チャイルドウィッシュたかばた							公表日 2026年1月28日
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	4				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10					
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、パリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	8	1		1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9			1		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	8	1		1	子どもの興味のある事から遊びや学びに繋げて貢献していると思う。	子どものコミュニケーションや保護者、学校との情報交換で子どもが必要としている事を従業員同士で話し合い、支援の仕方を考えています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	1			モニタリングで話し合い、本人に合った支援計画になっていると思う。	モニタリングの時間を十分に確保し、保護者との方向性を擦り合わせて、理解にずれの無い様にする。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	2				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	2		5		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4		3	3		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	3	4		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	3		1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9			1	HUG のサイトで行事の様子や写真があり、子どもの活動の様子が分かりやすい。	まめに更新をしてイベントや日常のこども達の様子を伝える。送迎時を利用し保護者への情報共有を十分にする。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1		3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	1		2	何年も通っているが、今が一番確保出来ていると思う。	常に危険を想定し安全を確保した上で興味のある事に取り組めるようにする。 過去の資料も参考にし、より良い支援が出来るよう努める。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8			2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10					
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				クッキングを楽しみにしている。	各こどもの興味のある事も踏まえイベントを計画し、新しく他の事にも興味を持てる様にしていく。